

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（1 / 7ページ）

種目(教科等)【社会（歴史的分野）】

項目	教科書名(新編 新しい社会 歴史) 会社名(東 書)
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○目標に対応して、各時代の学習を全体の見直しをもたせ、各時代の特色を確実にとらえられるように工夫されている。 ○我が国や郷土の伝統や文化への理解を深めるために「わたしたち歴史探検隊」で身近な地域の歴史に関する学習を取りあげている。 ○世界と日本の歴史や文化を学び、関わりを学習しやすいようにページの下に年表を掲載している。今どの時代を学習しているのかが分かるようになっている。 ○多面的・多角的に考察することができるように各分野との学習内容の関連が図られ、共通の資料を各分野の視点で考察する活動が設けられている。
特色	<p>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開きを1単位時間とし、導入資料、学習課題、本文、確認で構成されている。また、学習内容の理解を図るため、振り返る「ワーク」が設けられている。 ○基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける「歴史スキル・アップ」、学習した知識、概念を確認する「この時代の歴史の学習を確認しよう」が設けられている。 <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○歴史的な事象を相互に対比しながら共通点や相違点に気づき、その事象の特色をとらえられるように、掲載されている資料の選定や配置を工夫している。 ○各時代のまとめで、新聞、比較表、模式図を作る学習を設けている。自分でまとめることにより表現力等を身につけることができるようになっている。 <p>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教科書に掲載されている資料に見開きでの通し番号をつけ、授業で指示や家庭学習がしやすいように工夫されている。 <p>〈我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻頭に「日本の国宝・重要文化財」がのせられている。 ○巻末に「各地の主な史跡」など、世界に誇れる文化財を紹介している。 ○領土をめぐる問題については竹島を中心に扱い、資料で紹介している。 <p>〈我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各時代の導入として、小学校の時に学習した内容に関する資料を掲載し、既存の知識から歴史の流れを理解できるようにしている。 ○各時代のまとめでは特色をとらえ、自分の言葉でまとめる作業をいれることによって歴史の流れを理解できるようにしている。 ○各時代のまとめとして、年表をもとに主な出来事を整理する学習が設けられている。年表で大きな流れ、学習内容の理解を深化させる工夫がなされている。
	<p>資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開き左上に資料を大きく掲載し、興味関心を引き出している。またグラフ等も帯グラフ、折れ線グラフ等様々なグラフを掲載している。 ○学習内容の理解を助ける豊富な資料が掲載されている。授業の実態に応じた資料が掲載されているので資料集を使用せず、授業が行えるようになっている。
	<p>表記・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各項目の見出し、資料名、重要語句は太字で表現され、見開きページごとに学習課題が示されている。 ○資料には、見開きごとに通し番号をつけている。このことにより、本文の学習内容と資料を関連づけて学習することができる。 ○項目ごとに年表でどの時代を学習しているかを色で表し、各分野との関連が深い内容には関連マークがつけられている。
<p>総括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の紙面は、A B判を採用している。 ○「私たち歴史探検隊」では「身近な地域の歴史」を調べる活動を通し、社会の形成者としての資質を養ったり、現代の事例を通して身近な地域の将来について提案する活動を設け、社会参画への意識を高めたりするよう配慮している。

社会科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（2 / 7ページ）

種目(教科等)【社会（歴史的分野）】

項目	教科書名(中学社会 歴史 未来をひらく) 会社名(教 出)
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○「各時代の特色をふまえて歴史の大きな流れをとらえる」という、学習指導要領の目標に対応して時代学習に役立つ歴史年表が見開きページに掲載されている。 ○巻末に「各地の主な遺跡・史跡・できごと」を掲載している。遺跡と出来事を日本地図上にあらわすことにより、地理的分野との関連を図っている。 ○巻末の年表には日本の歴史とともに、中国・朝鮮・世界との関係がまとめられている。各国のつながりが理解できるようになっている。 ○「学習のまとめと表現」で時代の移り変わりを大観する構造図を掲載し、時代の特色について表現する活動が設けられている。
特色	<p>〈基礎的・基本的な知識技能を習得させる工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開きを1単位時間とし、導入資料、学習課題、本文、「ふりかえる」で構成されている。時代背景把握のため、単元は「世界→日本」の順で配列されている。 ○自分の言葉で学習内容を表現する課題が設定されていて、言語活動の充実を意図した内容が盛り込まれている。 <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元中の「読み解こう」では、絵・地図・グラフ等を読み取る学習を行うようになっている。 ○見開きのまとめの「ふりかえる」では、調査を通じて、さらに考えを深めたり、広げたりするようになっている。 <p>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒の問題意識を高める「学習課題」や、関連する内容を紹介する「歴史の窓」、特設ページ「〇〇の（から）歴史を探ろう」が設けられている。 <p>〈我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻頭に「歴史のなかの言葉」を紹介している。 ○国宝・重要文化財・世界遺産にマークがつけられている。 ○領土をめぐる問題については、地図資料を用いて紹介している。 <p>〈我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各時代の導入として、その時代と関連のある資料を取り上げ、これから学習する時代のイメージをつかませる「とびら」が設けられている。 ○各時代の特色やその背景を追求し、前の時代からどのような移り変わりが生じたのかに着目する「特設」ページが設けられている。 ○各時代のまとめとして年表を多く使用している。年表で歴史の大きな流れを大観し、出来事を理解するしくみとなっている。
	<p>資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開きの上部に学習のきっかけや追究の中心となる、導入資料・中心資料が写真などで大きく掲載されている。 ○資料に吹き出しの疑問点や解説を掲載し、学習の動機付けを図っている。相違している資料を掲載することによって意図的に違いに気づかせる工夫をしている。
	<p>表記・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大きめのフォントで歴史の大きな流れを理解させるために、言葉を厳選して文章構成がされている。 ○資料には、見開きごとに通し番号をつけている。このことにより、本文の学習内容と資料を関連づけて学習することができる。 ○「時代スケール」として項目ごとに学習する時代の範囲を色で表している。小学校で学習した人物にはマークをつけている。
<p>総括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の紙面は、A B判を採用している。 ○「未来をひらくために」では、これからの社会を築いていくために、自分たちが社会とどのようにかかわればよいかを考察させ、主体的に社会の形成に参加し、その発展に寄与する態度を養うよう配慮している。

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（3 / 7ページ）

種目(教科等)【社会（歴史的分野）】

項目	教科書名(中学 歴史 日本の歴史と世界) 会社名(清 水)	
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○巻頭には、時代の大きな流れと特色を把握させるための課題（キャッチコピー）と具体的方法（Yチャート）が示されている。</p> <p>○章の最初に、小学校で学んだ写真で導入し、最後に「まとめてみよう」で時代を大観し、大きな流れを理解するようになっている。</p> <p>○世界史も学習できるように工夫され、特に東アジアと日本とのつながりを系統的にくわしく記述し、国際協調の精神を養うようになっている。</p> <p>○歴史への興味・関心を高め、広げるために、「歴史のとびら」などで、資料の読み方や扱い方などの方法論が学べるようになっている。</p>	
特色	特 内 容	<p>〈基礎的・基本的な知識技能を習得させる工夫〉</p> <p>○見開きを1単位時間とし、導入資料、学習課題が示され、「まとめてみよう」により、学習を振り返り、基礎的・基本的な知識を習得するようになっている。</p> <p>○「歴史のとびら」「もっと知りたい歴史」を設け、資料を読み取る技能を習得するように工夫している。</p> <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉</p> <p>○各時代に「もっと知りたい歴史」では歴史にまつわるエピソードが設けられ、各時代の特色をより多面的に考察できるようになっている。</p> <p>○見開きの最後の「まとめてみよう」では、学んだ出来事を自分の言葉でまとめたり、表に整理し表現する学習が設けられている。</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</p> <p>○各時間・章末の「まとめてみよう」で学んだ出来事を整理し把握する年表や、各時代の特色などを自分の言葉で表現する、学習活動が各時代に設けられている。</p> <p>〈我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫〉</p> <p>○世界遺産と国宝にマークがつけられ、歴史や地域への関心を高める工夫がある。</p> <p>○神話や伝承が紹介され、我が国の歴史への愛情を育成できるようになっている。</p> <p>○領土をめぐる問題については、本文で紹介されている。</p> <p>〈我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫〉</p> <p>○序章において、資料を用いて大きな時代の流れと特色をつかませる、「キャッチコピーづくりをはじめよう！」という学習が設けられている。</p> <p>○章の最初に、小学校で学んだ写真で導入し、各時代の特色をつかむための課題を示すとともにその課題と関わりの深い資料が提示されている。</p> <p>○章の最後の「まとめてみよう」で、年表や資料で大きな流れの整理をするとともに、政治や文化の特色を自分でまとめ説明する学習が設けられている。</p>
	資 料	<p>○見開きの上部に中心となる、導入資料・中心資料が写真などで大きく掲載され、また、本文を補完する資料が解説とともに豊富に掲載されている。</p> <p>○ページごとに写真・地図・系図などが全てカラーで掲載されている。特に、重要な資料や世界地図については大きく掲載されている。</p>
	表 記 ・ 表 現	<p>○各項目の見出し・資料名・重要語句は太文字で示され、見開きページごとに学習のめあて、学習課題が示されている。</p> <p>○本文は常体で本文には参照ページを設け、写真や地図などには、見開きごとに通し番号が付されており、授業をすすめる上で便利である。</p> <p>○「時代スケール」として項目ごとに学習する時代の範囲を色で示し、小学校で学習した人物と中学校で学習する人物をマークで区別している。</p>
総 括	<p>○教科書の紙面は、B判を採用している。</p> <p>○小学校の復習や年表の作成などで、興味・関心を高め、様々な資料を掲示し多くの視点から基本的・基礎的な知識や技能を身につけるよう工夫されている。歴史を理解し、さらに興味を広げるように工夫されている。</p>	

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（4 / 7ページ）

種目（教科等）【社会（歴史的分野）】

項目	教科書名(社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き)会社名(帝 国)	
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○「タイムトラベル」に、本文と関連する重要な歴史の場面を探し出す視点を示している。イラスト付きの年表を入れ、時代の流れをつかむように工夫されている。</p> <p>○時代ごとの色が統一され、誌面右端の見出しには時代名を明記することで、学習している時代が分かるように配慮されている。</p> <p>○見出しの長さは、見返しの日本の歴史年表と対応しており、時系列を確認しながら学習できるように工夫されている。</p> <p>○文化史のページの本文は、政治・経済・国際関係等の社会的背景を踏まえ記述し、かつ文化を形成した人々の活動、努力、工夫する姿などにも触れている。</p>	
特色	<p>特 内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能の習得させる工夫></p> <p>○見開きを1単位時間とし、「導入資料」「学習課題」「本文」「確認・説明しよう」の流れで構成、基礎的な知識を整理して定着できるようになっている。</p> <p>○「技能をみがく」のコラムを設け、資料の見方・表現方法などの歴史の基礎的な技能を習得できるようになっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等の育成する工夫></p> <p>○「トライアル歴史」で本文ページと関連した歴史的事象を題材にして、論理的に考えを深めていくことで、思考力・判断力・表現力の育成を図っている。</p> <p>○各時代の初めの「タイムトラベル」で、大きく示された時代を特徴的にとらえたイラストから疑問や特色を見出せるようになっている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○本文のページは「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」「学習をふりかえろう」の構成で、学習の過程が分かりやすく、予習・復習しやすくなっている。</p> <p><我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫></p> <p>○国宝と世界遺産の写真にはマークを付けて表示している。</p> <p>○文化史は基本的に4ページで構成され、大判の写真資料が多く用いられている。</p> <p>○領土をめぐる問題については本文と「歴史を探ろう」の特集で紹介されている。</p> <p><我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫></p> <p>○導入ページの「タイムトラベル」で、時代を特徴的にとらえたイラストを示し、時代の特色を概観させながら、今後の学習のねらいを示している。</p> <p>○第1部の歴史のとらえ方と調べ方で、小学校で学んだ主な歴史上の人物を時系列で時代区分ごとに並べ、既習事項を振り返りながら時代を概観している。</p> <p>○各部の最後の「学習をふりかえろう」で時代の学習で習得した知識を確認するとともに、それを活用して表現する学習を設けて、各時代を振り返らせている。</p>
	資 料	<p>○学習課題に関連する資料や地図、グラフ、文献、年表等が見開き2ページに収まっている。</p> <p>○資料には「資料活用」が設けられ、読み取りのポイントが分かりやすく示され、資料の活用を促している。</p>
	表記・表現	<p>○各項目の見出し・資料名・重要語句は太字で示され、見開きページごとに学習課題が示されている。</p> <p>○本文は敬体で、学習内容関連事項についての参照ページ、参照資料の図番号、タイムトラベルのイラストの参照記号など、リンク機能が充実している。</p> <p>○文章だけでは理解しづらい用語には、図や写真が添えられて視覚的に理解が深まるような工夫がされている。</p>
総 括	<p>○教科書の紙面は、AB版を採用している。</p> <p>○各部の最後に「学習をふりかえろう」のページが設けられ、時代の特色を考え、説明させる活動で、時代を大観する学習が工夫される。また、文化史は基本的に4ページの構成とされ、充実した資料と内容で特徴的な紙面構成がみられる。</p>	

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（5 / 7ページ）

種目（教科等）【社会（歴史的分野）】

項目	教科書名（ 中学社会 歴史的分野 ）	会社名（ 日 文 ）	
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○時代を概観したり比較したりして、特色をとらえながら学習のねらいを定めている。編の最後には、既習事項を活用して各時代の特色を考える活動を設けている。</p> <p>○巻頭の「歴史との出会い」では、「文化財にふれる」「人に学ぶ」「現地を訪ねる」の視点を示し、郷土や我が国の歴史を尊重する態度を育てるようになっている。</p> <p>○各編のはじめの「地図で見る世界の動き」で、年表とともに世界地図を載せ、時代と世界情勢を大きく概観させる工夫がある。</p> <p>○日本に影響を与えた諸外国の歴史や文化の資料を取りあげ、関連した世界地図を掲載して分かりやすく示している。</p>		
特色	特 内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能の習得させる工夫></p> <p>○見開きを1単位時間とし、導入資料や「学習課題」が示されている。基礎的基本的な知識を習得するように「学習の確認と活用」が設けられている。</p> <p>○ポイントとなるキーワードを始めに示したり歴史学習の基礎資料で絵画資料の見方等を示したり、歴史学習に必要な知識・技能の習得できる項目を設けている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等の育成する工夫></p> <p>○学習したことを活用しながら「時代の特色」について考え、判断し、自分の言葉で表現することを促す学習活動が、各時代に配置されている。</p> <p>○各編のはじめに古代と中世、中世と近世、近世と近代などの資料を見比べるページを設け、具体的な資料から「時代の転換」を考えられるようにしている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○各時代の「導入」と「まとめ」の学習のほか、各時代の前半部分の「とらえよう！時代の転換」など節目にも言語活動を設けている。</p> <p><我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫></p> <p>○国宝と世界遺産の写真にはマークを付けて表示している。</p> <p>○「古代史プラスα」のコラムで日本の古代信仰や記紀の記述を紹介している。</p> <p>○「現代史プラスα」のコラムや本文で領土をめぐる問題について紹介している。</p> <p><我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫></p> <p>○導入ページで、時代を概観したり、前の時代と比較したりすることで時代の特色をとらえていく今後の学習のねらいを示している。</p> <p>○第1編の歴史のとらえ方では、歴史上の人物やイラスト、写真を時系列で並べ、歴史の流れを振り返らせながら、小学校の既習事項で時代を概観させている。</p> <p>○「とらえよう！時代の特色」で既習事項を政治、経済・社会、文化、外国とのつながりの項目で整理し、活用しながら各時代を概観させている。</p>	
		資 料	<p>○写真や図版等が大きく掲載されている。学習課題に関連する資料や地図、グラフ、文献、年表等が見開き2ページに収まっている。</p> <p>○見開き上部で導入となる資料と、それに関係する問いかけで関心を高め、学習課題につなげる工夫がある。</p>
		表記・表現	<p>○各項目の見出し・資料名・重要語句は太字で示され、見開きページごとに学習課題が示されている。</p> <p>○側注には「キーワード」「時代・世紀の表示」「基本用語」等を設け、それぞれにマークを付けたり、年表に着色したりして表示する工夫がみられる。</p> <p>○本文は敬体で、関連する事項には、本文に→p. 00と書かれ、参照できるようになっている。キャラクターが中学生らしいものになっている。</p>
総 括	<p>○教科書の紙面は、A B版を採用している。</p> <p>○各時代の前半部分に時代の転換の様子を捉える学習活動を置き、導入に対応するまとめの部分では、習得した知識を活用して時代の特色を大きく捉えられるようにすることで、我が国の歴史の大きな流れを理解できる構成となっている。</p>		

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（6 / 7ページ）

種目(教科等)【社会（歴史的分野）】

項目	教科書名(新版 新しい歴史教科書) 会社名(自由社)
<p>教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○我が国の文化遺産や歴史的建造物などを各章の扉絵やコラムで歴史や偉人に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てている。 ○巻末の年表には日本の歴史とともに、中国・朝鮮・世界との関係がまとめられている。各国とのつながり・歴史・文化との関わりを理解することができる。 ○多面的・多角的に考察する力を育成するために、各時代のまとめに人物を比較する課題が設けられている。 ○歴史の大きな流れを理解させるために、「歴史のとらえ方」で人物や地域に焦点を当てた学習方法が示されている。</p>
<p>特色</p>	<p>〈基礎的・基本的な知識技能を習得させる工夫〉 ○見開きを1単位時間とし、導入資料、学習課題、本文、「まとめチャレンジ」で構成されている。学習理解を図るため、学び方や調べ方が掲載されている。 ○「まとめにチャレンジ」で学習内容を振り返る工夫がある。基本的知識の定着がはかりやすい。 〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉 ○章末に「〇〇とはどのような時代か」のコーナーが設定してある。時代を自分の言葉でまとめることにより思考力・表現力の育成を図っている。 ○見開きの「まとめにチャレンジ」では、学習内容を要約して、表現する内容になっている。 〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉 ○細かな知識が豊富に掲載されている。よってこのきめ細やかな記載自体が主体的に学習に取り組む工夫となっている。 〈我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫〉 ○神話について詳しい本文とコラムで扱っている。 ○コラムでは多くの日本人をきめ細やかな内容で紹介している。 ○領土をめぐる問題については、本文で紹介されている。 〈我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫〉 ○各時代の導入として資料を比較させ時代の特色をイメージしやすい内容となっている。 ○まとめとして時代や人物を自覚させる課題を設定している。既習内容を活用しながら、歴史の流れを理解させるよう工夫している。 ○各時代のまとめには各時代の人物を「100字用語解説」として一覧表にまとめている。</p>
	<p>資料</p> <p>○資料を厳選し、大きく掲載することによって、生徒の目を引き、興味関心を引き出すことになっている。 ○各時代の最後には「100字用語解説」として重要語句の解説を掲載している。学習内容重要語句を振り返ることや確かな知識の定着に役立っている。</p>
	<p>表記・表現</p> <p>○各項目の見出し、資料名、重要語句は太字で示され、見開きページごとに学習課題が設定されている。 ○資料には、見開きごとに通し番号をつけている。このことにより、本文の学習内容と資料を関連づけて学習することができる。 ○世界史との関連をはかるために巻末に年表がある。東アジアとの関連が理解しやすいように工夫されている。</p>
<p>総括</p>	<p>○教科書の紙面は、B版を採用している。 ○コラムにおいては、特に規範意識、公正な判断力、公共の精神にかかわる教材の選択を重視している。まとめは、各時代共通で人物比較、ひとこと作文、意見交換等を設け、特色を表現し、表現力等の育成に役立っている。</p>

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（7 / 7ページ）

種目(教科等)【社会（歴史的分野）】

項目	教科書名（[新編] 新しい日本の歴史）	会社名（育鵬社）
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○歴史の流れを理解させるために、各章の冒頭に導入として小学校で習った出来事をまとめた「歴史絵巻」を設け、歴史の流れが理解できるようになっている。</p> <p>○我が国の伝統と文化を尊重する態度を育てるために、歴史を築いた人物や現在に伝わる優れた文化遺産について、役割や多彩な資料とコラムが掲載されている。</p> <p>○多文化共生の重要性を学び国際協調の精神を育てるために、日本と同時代の世界の動きや、国際関係や文化交流のあらましを具体的な事例で示している。</p> <p>○歴史事象を多面的・多角的に考察する力を育てるために、歴史の学習を広く学習できる「歴史ズームイン」や「歴史の名場面」などが掲載されている。</p>	
特色	<p>内容</p>	<p>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫〉</p> <p>○見開きを1単位時間とし、導入資料、学習課題、本文、学習のまとめで構成されている。基礎的な知識が身につくよう資料を豊富に掲載している。</p> <p>○基礎的・基本的な知識・技能を身につける「課題学習」、学習した知識を確認するための、「学習のまとめ」が設けられている。</p> <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉</p> <p>○「歴史人物Q&Aカードをつくろう」や「○○の世界へようこそ！」など学習の段階に応じた課題学習や言語活動が設けられている。</p> <p>○見開きの最後の「鉛筆マーク」、章末の「学習のまとめ」など、学んだ出来事を自分の言葉でまとめたり、各時代の特色をまとめる課題が設定されている。</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</p> <p>○「人物クローズアップ」などの読み物資料が設定され、アクティブラーニングの視点を取り入れた主体的に活動できる工夫がされている。</p> <p>〈我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫〉</p> <p>○世界遺産と国宝にマークがつけられ、歴史や地域への関心を高める工夫がある。</p> <p>○神話や伝承などを取り上げ、歴史への愛情を育成できるようになっている。</p> <p>○領土をめぐる問題については、本文とコラムで紹介されている。</p> <p>〈我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫〉</p> <p>○各章の章扉の「歴史モノサシ」で現在の学習している時代を確認し、各章の冒頭の「歴史絵巻」で時代の大きな流れを理解させるように工夫されている。</p> <p>○各章の導入として、「○○の世界へようこそ！」で、各時代の特色や時代の区分やその移り変わりを大きくとらえられるようになっている。</p> <p>○「学習のまとめ」で、年表や資料で大きな流れの整理をするとともに、出来事や人々の暮らしなど、時代の特色を自分の言葉で表現できるようになっている。</p>
	資料	<p>○見開きの上部に、学習課題や学習のまとめに基づいた、図版・文献資料などが大きく、掲載されている。</p> <p>○ページごとに写真・地図・系図などが全てカラーで掲載されている。また、あらゆる視点から考察できるような資料がバランスよく配置され、効果的である。</p>
	表記・表現	<p>○各項目の見出し・資料名・重要語句は太文字で示され、見開きページごとに学習のめあて、学習のまとめが示されている。</p> <p>○本文の関連箇所の資料を通し番号で表し、資料の図や写真などにも同じ番号が付けられている。また、難しい用語等には補足が付けられている。</p> <p>○章ごとに学習範囲を色で示した年表が描かれている。</p>
総括	<p>○教科書の紙面は、A B判を採用している。</p> <p>○学習の段階に応じた課題学習が配置されており、アクティブラーニングの視点が入り入れられている。また、「歴史ズームイン」や「人物クローズアップ」など主体的に学習に取り組む意欲を高めるように工夫された教科書である。</p>	